

令和2年11月13日

保護者の皆様へ

品川区立京陽小学校
校長 青木 幸代

新型コロナウイルス感染が発生した場合の学校の対応 および ご協力お願い

『新型コロナウイルス感染が発生した場合の学校の対応』については、6月23日付および7月2日付文書でお知らせしてきているところですが、このところの全国的な感染拡大の中、本区においても、児童・生徒の感染やそれによる学級や学年の閉鎖、あるいはご家族の感染による児童・生徒の出席停止などが発生するようになっております。

そこで、改めて感染や濃厚接触、あるいは感染疑いが発生した場合の対応や、想定される状況をお知らせするとともに、感染症拡大防止のためのご家庭へのお願いを、以下にお知らせいたします。

十分に気をつけていても、誰もが感染者や濃厚接触者、あるいは感染疑いになり得ます。その時こそ、他者を責めることなく、お互いに相手の立場を思い遣った行動に努めて、子どもたちの範になりたいと考えます。

学校でもこれまで同様、感染防止対策を確実にを行うとともに、感染者の発生に備えて様々な準備を進めてまいります。保護者の皆様におかれましても、万が一の場合を想定し、引き続きご協力をいただきたく、以下、少々長くなりますがお知らせいたします。

記

1. 基本的な対応

感染者の発生、および濃厚接触者の把握をした場合、現在のところ（11月11日現在）、品川区立学校では下記のように対応をすることになっています。

(1) 児童（あるいは教職員）に感染者が判明した場合

- ア 当該児童（教職員）は、治癒するまでの間、出席停止（事故欠勤）となります。
- イ 保健所の指示による消毒および校内での濃厚接触者の特定がなされるまで、原則として学校を臨時休業とします。なお、感染者の校内における活動の様態、接触者の多寡、感染経路の明否等を総合的に考慮して、必要に応じて、休業の実施の有無、規模、期間について検討し、学校の一部または全部を休業する場合があります。
- ウ 接触者であっても濃厚接触者に特定されなかった児童および教職員等については、感染症対策を徹底して行っていたのであれば、原則として登校は可能と考えます。
- エ 感染者の発生や臨時休業の実施については、文書や配信メールにてお知らせします。

(2) 児童（あるいは教職員）に感染の疑いがあると判明した場合

- ア 当該児童（教職員）は、感染がないと確認できるまで、出席停止（事故欠勤）となります。
- イ 原則として臨時休業は実施しません。ただし、校内での集団感染が疑われる場合には、必要に応じて臨時休業を実施する場合があります。

2. 保護者の皆様へのお願い

児童・生徒等が感染する場合、家庭内感染であることが多いと言われております。(9月4日時点で感染が判明している都内公立学校に通う児童・生徒のうち、8割以上が家庭内感染とされている。)

保護者の皆様には、以下のことにつき、ご協力ください。

(1) 学校への報告をお願いします。

児童・生徒と同居するご家族等が医療機関や保健所に新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者と判断された場合には、速やかに学校にご連絡ください。休日や深夜の場合は、翌日の朝で結構です。

その場合、児童・生徒は以下ようになります。(1. **基本的な対応** と一部重複します。)

①ご家族が「陽性」の時

- ・自宅待機となります。欠席扱いにはなりません。
- ・お子様は濃厚接触者となり、保健所の指示に従っていただくことになります。
- ・ご家族等が完治するまで登校を控えてください。
- ・可能な限り、自宅待機中の家庭学習課題をお知らせします。

②ご家族が「濃厚接触者」の時

- ・自宅待機をお願いいたします。欠席扱いにはなりません。
- ・罹患の可能性があるため、ご家族等の検査等の結果が「陰性」になるなど、医療機関や保健所に感染がないと確認されるまで登校を控えてください。
- ・可能な限り、自宅待機中の家庭学習課題をお知らせします。

(2) 引き続きの感染症防止対策や健康管理をお願いします。

①毎朝の検温と健康観察カードへの記入、マスクの準備と着用

②お子さんに少しでも体調不良の見られる場合は、無理をせず登校を控える。(症状について主治医等にご相談ください。)

(3) 学級閉鎖等が“いつでも起こり得ること”の想定をお願いします。

直近の他校の事例によれば、学級内で児童一人の感染が明らかになった場合、保健所の指示により学級全員のPCR検査が実施されることが見込まれます。それにより、全員の結果が出るまでに、最短でも2～3日間の学級閉鎖(時には学年閉鎖)が想定されます。検査によりさらに陽性者が確認された場合、学級の児童全員(および関係する教員)が濃厚接触者となり、学級閉鎖が2週間程度に及ぶことも考えられます。

保護者の皆様それぞれのお仕事などもある中、急な対応が起こり得ますが、『十分に気をつけていても、誰もが感染者や濃厚接触者、あるいは感染疑いになり得る』状況であることから、それぞれ備えをお願いいたします。

(4) その他、小さなことでも対応に悩むことなどがありましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

感染や感染疑いについての緊急のご連絡は、以下の番号でお受けします。

080-4412-7748 (夜間・休日等はこちらにお願いします。)

3. 学級閉鎖等の際の学習

- ・短時間に様々なご連絡が必要になることから、まずは配信メールにより家庭学習の課題をお伝えします。
- ・閉鎖が長期に及ぶ場合は、7月の保護者会での経験を活かしたZOOM朝の会など、オンラインによる学習活動も実施する予定です。
- ・eライブラリや動画視聴なども、4～6月同様、学年の発達段階を考慮しながら取り入れます。
- ・先日ご提出いただいたご家庭のインターネット環境調査などをもとに、必要に応じて印刷したプリントを配付し、家庭学習を進められるようにします。

4. 感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別を許さないために

明るく過ごしている子どもたちですが、心の中で「感染するのが怖い」「感染して友達に避けられるのが怖い」と思っている児童は決して少なくないと思います。また学年が上がれば、「もし自分が感染していたら、友だちにうつしたりして、みんなに迷惑をかける」などの不安も感じることでしょう。

繰り返しになりますが、十分に気をつけていても感染はあり得ます。

「感染した」ことで非難されたり辛い思いをするようなことは、決してあってはならないと考えます。

今後の感染者や感染疑いの発生を想定し、以下のことにつき、改めてご協力をお願いします。

- (1) 1 (1) エにあるように、感染者の発生や臨時休業の実施については、文書や配信メールにてお知らせします。プライバシーに配慮したお知らせとなることをご理解いただくとともに、子どもたちの不安が大きくならぬよう、それぞれのご家庭でのお声かけをお願いいたします。

- (2) お子さんと一緒に見ていただきたいページをご紹介します。

(国立成育医療センター コロナ × こども本部 より)



ウイルスの次にやってくるもの

【日本赤十字社】 <https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>
次にやってくるものとは!? 教室で気軽に観ていただける動画です。



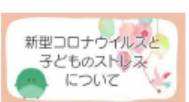
みんながヒーロー

【IASC MHPSS RG】 <https://interagencystandingcommittee.org/system/files/2020-04/My%20Hero%20is%20You%2C%20Storybook%20for%20Children%20on%20COVID-19%20%28Japanese%29.pdf>
コロナ流行下における世界の子どもたちの気持ちを想像したくなる絵本です。



学校に通う君たちへ

【国立成育医療研究センター】
<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/60b795a524385f4d495b3a7a8af33b5fa5fe38cc.pdf>
コロナによる“スティグマ”について小学生にも身近なわかりやすい教材です。



新型コロナウイルスと子どものストレスについて

【国立成育医療研究センター】 <https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>
ストレスを抱える子どもたちに、保護者の方々や先生方にできることをまとめたwebサイトです。

